



さんないまるやま つうしん

第 44 号

平成 20 年 2 月 1 日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡対策室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1  
TEL (017) 734-9924  
FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡展示室

〒038-0031 青森市三内丸山293  
TEL (017) 781-6078  
FAX (017) 781-6103  
URL: http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

# 三内丸山通信



環状配石墓は三内丸山遺跡のお墓を考える上でとても重要な遺構です。発掘調査は、環状配石墓のつくり方や年代などを解明し、そこで得られた情報を保存や活用に役立てていくことが目的です。

第三十一次調査は、五月二二日から九月二八日まで、遺跡南西部の環状配石墓を三基調査しました。環状配石墓は亡くなった人を入れた「埋葬部」と、それを石で取り囲む「配石部」から構成されます。

三基の埋葬部はいずれも底面の壁際に細い溝が巡っていましたが、その一部から炭になった板が壁に沿って見つかったことから、この墓は板材で囲んだつくりだったと考えられます。底面の大きさは長軸一・五、一・六、短軸〇・五、〇・六で、ほぼ同じ大きさでした。副葬品と思われる遺物は各埋葬部一点だけです。それぞれ石鏃、拳大

## 今年度の発掘調査の成果



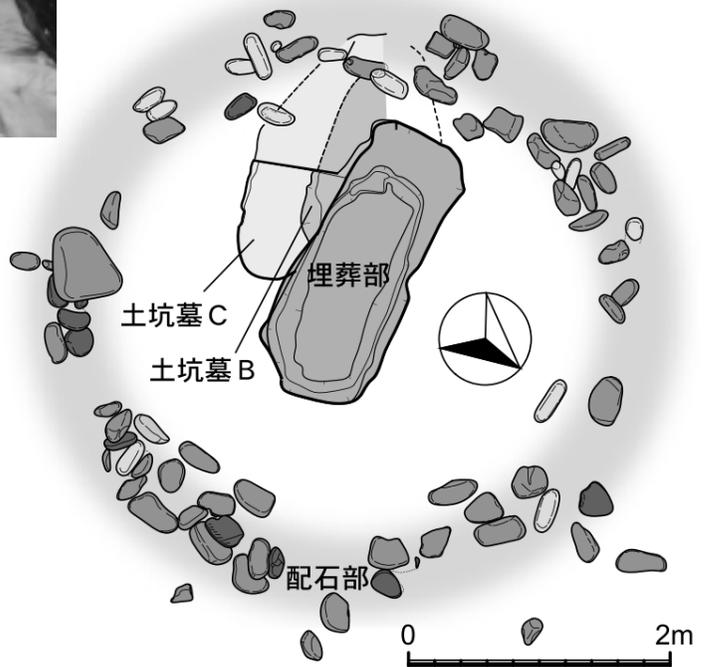
の石、赤色顔料が見つかっていました。

第十一号環状配石墓の埋葬部は別の土坑墓二基(B・C)と重なっています。

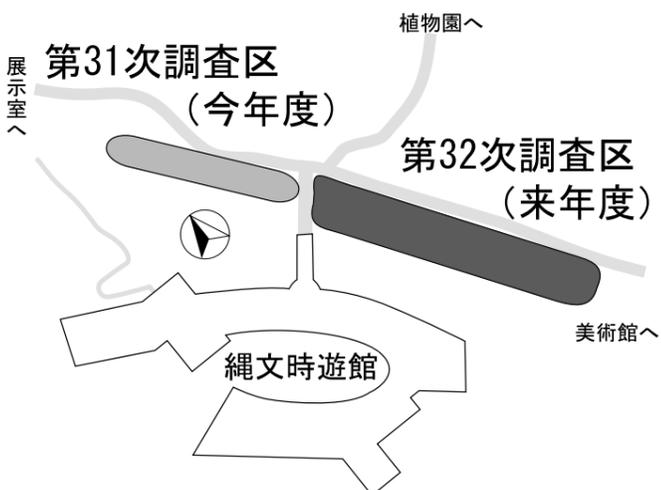


第11号環状配石墓

真ん中にあいた穴が亡くなった人を入れた埋葬部です。その周りに石を置いた配石部がつけられています。



第11号環状配石墓 左上写真の平面図



今年度と来年度の調査区

調査の結果、埋葬部は壁際に溝が巡りますが、土坑墓二基は溝がありません。調査の結果、埋葬部は壁際に溝が巡りますが、土坑墓二基は溝がありません。

配石部には長さ三〇センチ程の石が多く使われていました。表面観察の結果、磨った痕やたいた痕、赤色物質の付着する石なども少数含まれていました。石の種類は「安山岩」が七〇パーセント最も多く、「石英安山岩」と「凝灰岩」が各十パーセント含まれています。これらの石は、青森市の中心部を流れる荒川(堤川)の川原で見られる石とよく似ていることから、直線距離で約五 離れた荒川から運ばれてきた可能性ががあります。

来年度の発掘調査は、今年度と同じ環状配石墓を中心に行なう予定です。調査の場所は、今年度掘った所の南東、縄文時遊館の時遊トンネルを出て右側になります。

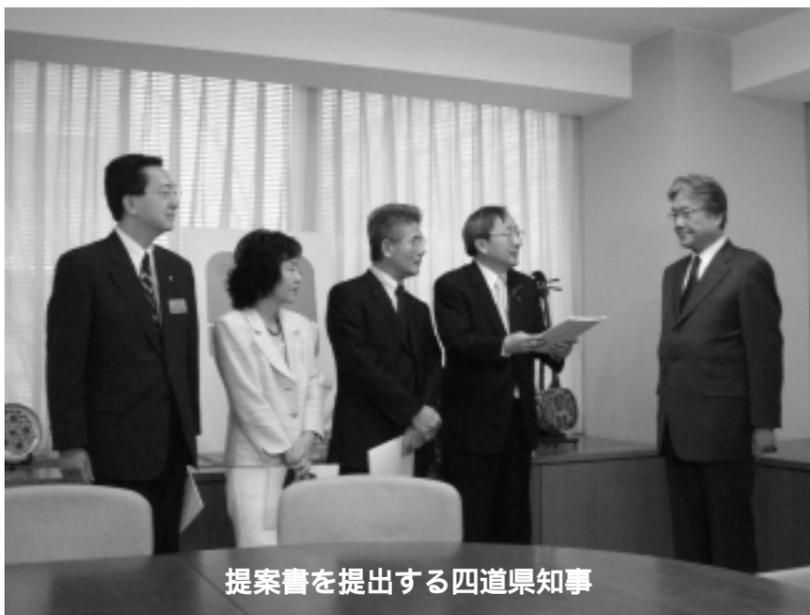
### 環状配石墓二基に埋葬部は一つ

### 石のつくりかた

した。この配石墓の南側で見つかった土坑墓と形や大きさがよく似ており、これは環状配石墓に伴わない可能性が高いことがわかりました。このことから環状配石墓一基に伴う埋葬部は一つであることがほぼ確実となりました。



# 「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産提案書提出!



提案書を提出する四道県知事

昨年十二月十九日、北海道、青森県、岩手県、秋田県の四道県の知事が国内の候補遺産リストである世界遺産暫定一覧表への登録を目指し、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の提案書を、青木保文化庁長官に提出しました。

これは、昨年八月に北海道旭川市で開催された「北海道・北東北知事サミット」で、名称を「北海道・

北東北の縄文遺跡群」として、世界文化遺産登録に向けた共同提案が合意され、三村申吾青森県知事が各道県の知事に呼びかけ、実現したものです。

この提案は資産となる遺跡が所在する、北海道・函館市・伊達市・森町・洞爺湖町・青森市・青森市・外ヶ浜町・七戸町・岩手県・一戸町・秋田県・鹿角市・北秋田市の四道県と十二市町が、共同で行いました。

提案書では、世界自然遺産白神山地に代表される豊かな自然に恵まれた地に、わが国の歴史の大半を占める縄文文化が花開き、縄文文化は「自然との共生のもと約一万年もの長きにわた

## 三内丸山 縄文秋祭り



恒例の三内丸山縄文秋祭りが十一月十七、十八日の二日間開催されました。

今回で五回目となり、縄文鍋の試食会やクイズラリーなどの催し物、時遊館エントランスホールにおいて幼稚園・保育所の演奏や小学校の吹奏楽演奏があり、たくさん家族連れでにぎわっていました。

## 遺跡見学者 500万人達成

十月十八日に、平成六年八月の一般公開から十三日目、遺跡見学者が五百万人に達しました。当日、縄文時遊館において、マスコットのさんまるらに迎えられ、バスツアー

で到着した静岡県の土屋和子さんが五百万人目の見学者となりました。土屋さんには、記念の花束とさんまるぬいぐるみなどが贈られました。土屋さんは「いい記念になりました。素晴らしい旅です。」と喜んでいました。



## ご案内

### 展示室ガイド

展示室定時ガイド 1日3回(約20分)  
(10:50~、13:50~、15:50~)  
場所 遺跡内展示室  
参加費 無料  
定員 10名程度(最少催行人数1名様から)  
お申し込み方法  
開始時刻の前までに、遺跡内展示室の受付にお越し下さい。(定時以外にもガイドは行います。ご遠慮なくお申し込みください。)  
ガイドが行われない日  
4月27日~5月6日、8月2日~7日は、混雑するため、ガイドは休ませていただきます。

### 3月上旬 第31次調査の成果展

場所 三内丸山遺跡展示室  
開催期間 3月上旬~6月下旬まで  
開館時間 午前9時~午後5時

### 3月15日 遺跡報告会

場所 縄文時遊館 縄文ギャラリー  
時間 午後1時~3時30分  
発表内容(予定)  
・三内丸山遺跡対策室 第31次発掘調査の成果  
・合地信生 石斧製作石材の円筒土器文化圏における流通  
・辻 誠一郎 縄文中期から後期初頭の環境文化急変の解明